

日帰り旅行in常夏の楽園～ハワイアンズ～

やしおみ荘

そろそろ秋旅行のシーズンです。やしおみ荘では、今年いわきの名を全国に広めた映画「フラガール」の舞台、スパリゾート・ハワイアンズへ出かけました。みんなそれぞれ素敵に変身…心躍らせバスへ乗り込みました。昔、ハワイアンセンターにいったことはありましたが、様変わりをしていてびっくり！ ホテルにておいしい料理に舌鼓をうち、久々の宴にカラオケや踊りも飛び出しました。いつも控えめな人も少人数だったこともあり舞台へ。やしおみが生んだ「演歌歌手の誕生」の瞬間です。いつもの利用者の笑顔がさらに輝く瞬間でした。

それからフラダンスの舞台前、湿度も高くそれだけは昔と変わらない。パイをくりぬいた器で飲むトロピカル・ジュース。初めての体験で南国ムード倍増フラダンスは、女性の情熱的な踊り、男性のファイヤーダンスは火をく

わえた危険と隣り合わせの状況に息を呑む…そんな南国の風を運んでくれるひとときでした。ハワイの土産を手に帰路につきました。

アロハ～!!!～(▽▽～) ☆★☆☆～(▽▽～)



さあ、みんなで「カンパニー!!!」

第2回日中活動支援部会施設長研究会議に参加して

ふじみ更生園 渡邊 晴香・五十島弘恵

障害者自立支援法が全面施行となり約1年が経過した中今回の研修に参加し、新法の柱の一つである地域移行について、新体系に移行した事業所の話聞き学ぶ機会となった。どの事業所も新体系となることで、就労先の確保・工賃、人材不足、コスト問題等と課題は多くあるが、サービスの内容は利用者本位で、利用者のニーズをサービスに繋げようとす

る考えに一致していた。新法について不満や矛盾点を抱きながら今後のサービスについて悩んでいたが、「利用者本位」を大切に利用者と共に考え築き上げるサービスを提供できればと感じた。まずは利用者と一緒に話し合い共に考え、悩み、その方らしい生活を守って行きたいと思う。

第32回全国救護施設研究協議大会に参加して

やしおみ荘 上遠野重行・永沼 憲一・千葉 彩織・印南美智江

9月13日（木）から14日（金）の二日にわたり、施設長他3名で、札幌で開催された全国救護施設研究協議大会に参加致しました。

今回は、「救護施設の機能強化に向けて」というテーマに則り、各講演、発表などがなされました。例えば、犯罪者増加の問題、自立支援プログラム、ホームレス、福祉人材確保の問題など、今の福祉関係者が直面している問題について、情報を吸収することが出来ました。また、最近重要視されている利

用者の重度高齢者の問題についても、それぞれの施設状況を報告し、意見を出し合い、前向きな討議ができました。

これからの救護施設を取り巻く環境は、決して楽観できるものではありませんが、限られた社会資源の中で何が出来るかを考えて、利用者支援にあたっていききたいと思います。

貴重な体験を得る機会を頂き、ありがとうございました。